

令和5年度

伊予市がんばる地域コミュニティ応援事業

# 活動報告書



令和6年2月

## 活動報告書目次

伊予市がんばる地域コミュニティ応援事業費補助金採択団体（順不同）

フラピクニック実行委員会	(P1～P5)
地域新聞みあき	(P6～P14)
いよあかり	(P15～P23)
夕照拓道を活用した桜景色づくりの会	(P24～P27)
E4 プラットホーム	(P28～P31)
双藍（そうあい）～愛を紡ぐ藍～	(P32～P34)

【団体①】

令和5年度活動報告書

団体名	代表者	設立
フラピクニック実行委員会	杉浦 未季	2015年8月27日
<b>事業名</b>		
フラピクニック in いよし		
<b>事業の目的</b>		
<p>フラやハワイ音楽を通じて、世代や流派、派閥を超えた団体間の交流の場を提供するとともに、子どもたちが気軽にフラに接し、記憶に残る体験をする機会を提供することで、伊予市独自の魅力づくりを行う。</p> <p>また、年間を通じた体験型のカリキュラムや伊予市での活動を積極的に行いかつPRし、フラの聖地＝五色浜を目指して魅力を市内外に情報発信することで、地域の活性化を図りながら、Uターンや移住促進にもつなげる。</p>		
<b>事業の内容</b>		
<p>夏の「フラピクニック in 五色浜」の開催を1年に1度の大きなイベントとして核と位置付け、年間を通してフラやハワイ音楽、ビーチヨガ等により他のイベントに参加し、地域・まちを元気にしていく。また、拠点である五色浜でのビーチクリーン活動で参加するなどその魅力の発信に努める。</p>		
<b>事業の成果</b>		
<p>夏の「フラピクニック in 五色浜」の開催を1年に1度の大きなイベントとして核と位置づけ、年間を通してフラやハワイ音楽、ビーチヨガ等により他のイベントに参加した。</p>		
<p>3月26日 五色姫祭り参加（雨のため参加中止）</p> <p>4月～（毎月1回）五色浜ビーチクリーン活動参加</p>		
		
<p>5月～ビーチヨガ（インスタグラムにて発信）</p> <p>7月22日 双海おもしろ大作戦として児童生徒を対象にフラダンス体験講座を開催（双海地区公民館）</p>		



7月30日 フラダンスイベントを双海道の駅で開催（双海シーサイド公園）

8月17日～24日 市役所1階ロビー壁面に「フラピクニック in 五色浜 2023」の広告ボード掲載



8月26日 フラ指導者 Kumu Sandii 氏によるワークショップ開催（IYO 夢みらい館）



8月27日「フラピクニック in 五色浜 2023」開催  
体験イベント、ビーチマルシェ、ビーチヨガ他



9月8日 五色浜いもたき会オープニング時にフラを披露



9月13日 伊予市市長チャンネルに出演

9月16日 IYOカラオケ Music フェスタに出演参加 (IYO 夢みらい館)



10月1日 愛媛CATV開局イベントにフラチームが参加 (町家)



10月28日、29日 伊予市で開催されたねんりんピックえがおの愛媛2023に当実行委員会メンバー5名がボランティアとして参加。(マニュアルなど大変勉強になった。)



11月4日 東京において「関東ふるさと伊予市」に出演参加



12月2日 地域教育実践交流集会において当実行委員会の活動報告を発表（大洲青少年交流の家）



通年 普及啓発活動・情報発信（HP、Facebook）

事業の成果として

- ① フラピクニックのテーマソングを普及できて、伊予市の文化祭や関東ふるさと伊予市会等、多くのイベントに参加し披露できた。
- ② 「伊予市の海をきれいにし隊」との共感コラボが始まった。
- ③ 当委員会のメインイベントである「フラピクニック in 五色浜」開催にあたって、伊予スィミングクラブさんの協力をはじめ、多くの地元企業、事業者様の協賛を得ることができた。また、伊予市、伊予市教育委員会をはじめとして、報道各社の後援を得ることができ当委員会の事業にご賛同、ご理解を得ることができた。
- ④ 地域教育実践交流会に事例発表に参加し、アピールでき、ボランティア参加者への広がりになりそうである。

### 事業の課題

1.メインイベントである「フラピクニック in 五色浜」開催については

- ①ボランティアの確保と暑さ対策
- ②フラチームの誘導とスタッフの一体感
- ③舞台でのプログラム掲示の仕方

等のさらなる改善点がある。

2.県外のフラダンスの学生サークルの招待を計画していたが、実施にいたらなかったため、今後、取り組んでいきたい。

### 今後の事業展開

今後の事業展開は、

メインイベントである「フラピクニック in 五色浜」においては、

- ① フラの各参加チームにおもてなし担当をつけて、伊予市五色浜でのおせったいの気持ちを示せるようにする。
- ② 令和7年度は市政20周年にあたり、当委員会のフラピクニックも10周年となるため、令和7年度は大々的に開催できるよう準備を進めたい。
- ③ 県外のフラダンスの学生サークルの招待に取り組みたい。（イベントへの出演のほか合宿の誘致）



## その他（団体のHP・SNS・リンク先等）

フラピクニック in 五色浜 公式HP <https://hulapicnic.wixsite.com/goshikihama>

フラピクニック in 五色浜- YouTube <https://www.youtube.com/@hulapicnicingoshikihama>

フラピクニック in 五色浜- Facebook <https://m.facebook.com/hulapicnic/>

HULA PICNIC in 五色浜 (@hulapicnic) - Instagram <https://www.instagram.com/hulapicnic/>

## 自由記載

### 「フラピクニック in 五色浜」

開催日時 2023年8月27日（日）10:00～18:30

開催場所 五色姫海浜公園

出演者 27団体（大人237名、子供116名 計353名）

来場者数 約10,000人

協賛をいただいた企業・事業者数 53社

後援をいただいた団体

伊予市・伊予市教育委員会・愛媛新聞社・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ

愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・FM愛媛・NPO法人日本ビーチ文化振興協会


協賛をいただいた企業・事業者様及び後援をいただいた各団体様、ありがとうございました。

2024年の開催予定は8月25日（日）です。引き続き応援よろしく申し上げます。



【団体②】

令和5年度活動報告書

団体名	代表者	設立
地域新聞みあき	原田 浩明	2016年10月
<b>事業名</b>		
他団体共同での地域資源の利活用促進及び地域活動のあり方について考えるプロジェクト		
<b>事業の目的</b>		
主とする活動地域は違えども、志を同じくする団体や個人が互いの活動に協力し、絆を深めていくことで、活動の継続性を担保する道筋をつける。また、共同活動を通して、これまで参加してこなかった他の地域住民の掘り起こし（活動への共感や協力）を図る。		
<b>事業の内容</b>		
竹の利活用としての『竹あかり』の普及活動及び価値の創造 例年行っているイベントに他団体を招致し、より多くの方に共感してもらえるイベントへと昇華		
<p>令和5年6月3日 ホテル観賞会（「いよあかり」さんとの竹あかりを通じたコラボ活動）</p> <p>参加者：地域住民、「いよあかり」の皆さん、地域新聞みあきメンバー他</p> <p>会場：三秋集会所</p> <p>内容：手作りの竹ランタンを持ってホテル観賞 散策路に竹あかりを設置しイベントを演出 竹ランタン作りの講師とサポートを「いよあかり」さんに依頼 ※その他詳細は添付のチラシを参照</p>		
		





## 竹の利活用としての『竹あかり』の普及活動及び価値の創造 PR活動の強化

令和5年8月13日 三秋フェア2023 in 町家（町家にて三秋のPR活動）

参加者：町家の買い物客、地域新聞みあきメンバー他

会場：町家 中庭広場

内容：三秋産農産物の販売・野菜詰め放題

三秋地区のPR（6月のホテル観賞会にて製作した竹あかりを展示）

※その他詳細は添付の開催概要  
を参照



## PR活動の強化（他団体へのイベント協力等を通して）

令和5年8月19日 第13回わくわく体験デイキャンプ（愛媛県VYS 連合協議会主催）での協力

参加者：デイキャンプ参加の子どもたち、愛媛県VYS 連合協議会の皆さん、  
地域新聞みあきメンバー他

会場：西願寺および周辺の畑

内容：オリエンテーリング使用するソルゴー迷路の企画・製作・管理  
キュウリ収穫体験でのサポート

## 例年行っているイベントに他団体を招致し、より多くの方に共感してもらえるイ ベントへと昇華

令和5年10月22日 第5回レンコン試し掘り会

（地域住民およびその関係者が対象）

参加者：地域住民、「いよあかり」の皆さん、  
地域おこし協力隊、JICA 海外

協力隊、地域新聞みあきメンバー他

会場：レンコンファーム三秋

内容：レンコンの収穫体験および参加者同士の交流

※その他詳細は添付のチラシを参照



令和5年11月3日・ 第5回みあき集落活性化イベント「レンコン収穫体験会」

11月19日 (三秋外も含めた一般の方が対象)

参加者：体験会参加者、地域住民、「いよあかり」の皆さん、地域おこし協力隊、JICA 海外協力隊、地域新聞みあきメンバー他

会場：レンコンファーム三秋・三秋集会所

内容：レンコンの収穫体験および参加者同士の交流

三秋産農産物直売・収穫体験のレンコンを使用したとん汁試食販売

竹あかりの展示等の地域活動団体のPR 他

※その他詳細は添付のチラシを参照

第5回みあき集落活性化イベント  
2023年11月3日・19日 2日間開催!!  
レンコン収穫体験会  
今年もレンコン畑に併い、1日20種(各苗10種)、2日間で40種さまに拡大。

1日2回の入れ替え制にて実施 小雨決行・荒天中止

参加費  
大人(16歳以上) 2,000円 ※最低保証2kg  
小人(6~15歳) 1,000円 ※最低保証1kg  
幼児(5歳以下) 無料  
※お申し込み後、お申し込みの人数に不足が生じた場合は、お申し込みの人数に不足分を補填させていただきます。

受付場所 三秋集会所(伊予東三秋439-1)

受付開始時間  
①9:00~[60分間]  
②11:30~[60分間]  
※受付開始時間より30分以内に受付をお済ませ下さい。

申し込み方法  
インターネットにて、地域新聞みあきの公式webサイト(右のQRコード)にて申し込みください。レンコン収穫体験会への申し込みは、お申し込みください。  
2023年10月22日より受付開始  
お申し込みは、お申し込みの人数に不足が生じた場合は、お申し込みの人数に不足分を補填させていただきます。  
お申し込みの人数に不足分を補填させていただきます。

ご用意頂くもの  
着替え(決で持てる場合もあります)、軍手、長ぐつ、スリッパ(無料貸し出しあり)  
※お申し込みの際は、お申し込みの人数に不足が生じた場合は、お申し込みの人数に不足分を補填させていただきます。

地域新聞みあき事務局 電話:090-3946-2018 (受付時間:10:00~18:00)  
〒790-0001 伊予市三秋439-1  
HP: <https://miaki.org>  
Email: [event.miaki@gmail.com](mailto:event.miaki@gmail.com)  
@https://forms.gle/WULQdmPw2pVQVt6

申込はこちら  
QRコード  
QRコード  
QRコード

## 事業の成果

竹の利活用としての『竹あかり』の普及活動及び価値の創造  
例年行っているイベントに他団体を招致し、より多くの方に共感してもらえるイベントへと昇華

ホテル観賞会の成果





当初の想定を遥かに超える参加者で大盛況。

竹ランタン作りは、子どものみならず、大人も夢中になるほど楽しい。

竹ランタンの灯りが柔らかい光でホタル観賞の雰囲気ベストマッチ。

初めて参加される地域住民の方もいて、住民間の交流が活発化。

今回の「いよあかり」さんとのコラボ企画は、新たな共感者を呼び呼び水。

→今後も「いよあかり」さんとのコラボ企画を行いたい

## 竹の利活用としての『竹あかり』の普及活動及び価値の創造 PR活動の強化

三秋フェア2023 in 町家の成果





町家のお客さんとの会話を通して三秋地区をPRできた。  
当団体の活動PR用に、6月のホテル観賞会で製作した竹あかりを展示。  
予想以上に竹あかりへ興味を示すお客さんがいて、購入方法の問い合わせも数件あった。  
→放置竹林からの竹あかりの製作→収益事業の見込みあり

### PR活動の強化（他団体へのイベント協力等を通して）

第13回わくわく体験デイキャンプ（愛媛県VYS連合協議会主催）での協力の成果





ソルゴー迷路（上記写真）は、子どもたちに大好評。

初めての試みのため、迷路自体はさほど広くなく、すぐにゴールできてしまい、子どもたちには物足りないのではと心配していたが、そこは子どもなりに新しい遊び方を見つけて楽しんでた。

イベント使用後は、ソルゴーを細かく刈って、畑にすきこむことで堆肥となるため、耕作放棄地の利活用として期待できる。

→今後は迷路の面積を増やして他のイベントでも活用したり、他の地域や団体にも広めてコラボ企画が行えたらと思う。

## 例年行っているイベントに他団体を招致し、より多くの方に共感してもらえるイベントへと昇華

### 第5回レンコン試し掘り会の成果



回を重ねるごとに新しい方が参加頂いている。

本活動に共感してくれている人が確実に増えていることを実感。

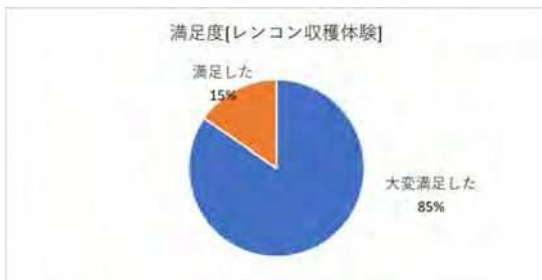
参加者同士の距離感が近くて良い。



第5回みあき集落活性化イベント「レンコン収穫体験会」の成果



## アンケート結果



### 【その他のご意見】

- ・竹あかり作りも楽しみです
- ・急な参加だったが快く受け入れてもらいありがたかった
- ・他のイベント等楽しみにしています。
- ・松山では田舎体験なかなかできないので続けていただけると嬉しいです
- ・インスタフォロー済みです。絶対また来たいです
- ・インスタフォローしてます。インスタチェックします

アンケート結果より、リピーターの割合が増えており、交流人口から関係人口へ変化している。今回は、地元自治会の強力なバックアップ（呼びかけ）のおかげで、多くの三秋住民からイベントスタッフとして参加頂いた。回を重ねるごとに地元自治会との距離が縮まっており、地元の協力が得られやすくなった。今年度も新しいボランティアスタッフさんと出会えて、地元住民との新たな交流が生まれている。

## 事業の課題

地域資源（放置竹林・三秋レンコン等）の利活用が、イベントでの竹ランタンの製作までで留まっており、収益事業に向けて更なる活用方法を検討する必要がある。

少子高齢化がますます進む中で、地元住民だけでイベントを継続していくことが困難になっている。今回の「いよあかり」とのコラボは、互いの活動が共感し合える団体同士が互いに協力し合い、互いの活動を支えるひとつのきっかけになった。今後の継続のためにも、互いに活動を助け合える団体や個人の輪を広げていく努力が必要である。



## 今後の事業展開

「三秋レンコン」のブランド化→商品開発（蓮の花の活用とか）  
ソルゴー迷路の拡大→新たな事業展開（耕作放棄地の利活用）の種として育てる  
レンコン収穫体験会全体の満足度を高める→産直や輪投げ以外の催しものの検討（キッチンカーの誘致とか）  
交流会を機に色々な団体さんとのコラボ企画を検討  
次年度こそタタハウスさん（東京）へPR活動・訪問

## その他（団体のHP・SNS・リンク先等）

【団体HP】

地域新聞みあき <https://www.miaki.org>

【Instagram】



【X（旧 Twitter）】



## 自由記載

メンバー募集中！私たち一緒に新聞活動してみませんか？





## 令和5年度活動報告書

団体名	代表者	設立
いよあかり	須賀 弥生	2022年6月10日
事業名		
竹を活用したこどもたちの居場所づくり		
事業の目的		
子ども達の居場所づくり / 体験活動応援 / 異世代交流 / 子育て支援 / 社会教育活動		
事業の内容		
令和6年 6月 3日	地域活性イベント「三秋ほたる鑑賞会」	
令和5年 7月23日	夏休み企画 親子で竹ランタンづくり	
令和5年 8月13日	町屋「三秋フェア」竹あかり展示	
令和5年 8月20日	本物の竹でそうめん流し	
令和5年 9月30日	お月見パーティー&お月見竹あかりづくり	
令和5年11月12日	地域を彩る 大型飾り竹あかり製作	
令和5年11月25日	ヒノポリにて 竹ランタンワークショップ	
令和6年 3月10日	竹炭づくり&手作り石窯ピザづくり(仮)	
事業の成果		
<p><b>令和6年 6月 3日 地域活性イベント「三秋ほたる鑑賞会」</b></p> <p>地域新聞みあきさんから、お声かけいただき地域のイベント「三秋のホタル観賞会」で竹ランタン作りをおこないました。事前制作・打ち合わせをし、今回は手持ちをつけた「竹ランタン」を製作することに決定。</p> <p>当日は、地域の方を中心に、年配の方から幼児までたくさんの方が参加いただき、今回は手持ちの紐をつけたものを製作。受付の順に、竹とデザインを選び、貼り付け専用ドリルで穴を開けていきました。初めての方も多く、スタッフがお手伝いしながら竹あかりづくりを行いました。地域のみなさんが揃うのも久しぶりということもあり、待っている時間もおしゃべりを楽しんでいる様子でした。</p> <p>日が落ちて暗くなったころ、自分で作った竹ランタンを手に持ち、みんなでホタル観賞に出発。ホタルがいる小川までの小道の両側には、事前に製作した竹あかり20本を並べてあり、小道を美しく彩ります。</p> <p>きれいだね。かわいいね。という声もたくさん聞こえてくる中、参加者たちは、小道に並ぶ竹あかりと自分たちで作った竹ランタンを眺めながら、会場までの道を足取り軽く歩いて行きました。ホタルが舞う小川につくと明かりを消し、夜空にちりばめられた星のように見えるホタルたちを楽しみました。田んぼから聞こえてくるカエルの大合唱を聞きながら、心地の良い風とランタンも竹あかりで、とっても幻想的な素敵な夜でした。</p>		



地域の方たちで集まることも減り、参加者も年々少なくなっていました。今回はこんなにもたくさんの方が参加してくれたと喜ばれていました。いよあかりの活動が、地域活性のお手伝いもできるとわかり、また他の地域でも開催したいと考えています。



### 令和5年 7月23日 夏休み企画 親子で竹ランタンづくり

夏休みの自由研究にとくさんのこどもたちが参加してくれました。午前中には軽トラを借り、スタッフで竹を伐採しに竹藪へ行きました。何メートルもある竹を伐採するのは、思っている以上に大変な作業です。ワークショップは午後からのため、それまでの時間で会場設営・準備をしました。

参加者たちは受付を済ませ、まず好きなデザインを選びます。今回は、夏休み企画ということで、カニ、いるか、ふくろう、ねこなどの動物のデザインを新しく追加しました。そして、自分たちで好きな色合いの竹を選び、大人にサポートしてもらいながら、竹を一節ごとにカットしていきます。のこぎりを使うが初めてのこどももいましたが、教えてもらいながら少しずつ上達し、コツをつかんで器用にカットできました。デザインを貼り付けた後は、竹専用の電動ドリルで穴をあけていきます。

小さな穴をあける作業は根気がいりますが、諦めずに最後まで自分で仕上げのおこさん、親子で協力しながら製作する家族、こどもより張り切るおじいちゃん、など、みなさんそれぞれが竹あかりづくりを楽しんでいました。最後までやりきった満足感、達成感に満ちた顔、きらきらしてとっても素敵でした。

最後に艶出しのために、バーナーで炙ります。色合いが変化するのを眺めるのも面白く、大人もこどももわあ。と驚きの声。出来上がった竹あかりは、青竹の香りと鮮やかな緑でとても美しいもので、日中でも楽しむことができます。また、日が落ちてから、ライトを灯すと違った表情をみせ、竹あかりのやさしい光にみなさん癒されたことでしょう。

つくった後も、自分で作ったという誇らしい気持ちと、変化していく色合い、優しい灯りに、五感で楽しむことのできる竹あかりには、こどもたちの感性を伸ばすすばらしい可能性があると思います。





### 令和5年 8月13日 町屋「三秋フェア」竹あかり展示

町家で「三秋フェア」にて、いよあかりの竹あかりを展示。お買い物に来られたお客さんにも大好評で、年代問わずどなたにでも喜んでいただけたことがわかりました。



### 令和5年 8月20日 本物の竹でそうめん流し

伊予市の上吾川地区で地域活動をされている一休会の方たちのご協力のもと、本物の竹を使ってそうめん流しをしました。早朝から一休会の方々と竹藪へ行き、とても長い竹を何本も持ち帰り、そうめん流しの台を作っていきます。

本格的な道具も使って、危なくないように研磨もしてくれました。そうめんながし台を作っているのを見



るのも初めてなので、興味深く、真剣な眼差しで作業の様子も見ていました。わたしたちは、そうめんつゆの器や薬味入れ、竹の箸を作りました。竹あかり作りを経験しているこどもは、さすがでコツをつかんで上手に竹を切っていきます。自分だけの器も嬉しく、お気に入りの形を見つけるのもまた楽しいようでした。

完成したそうめんながし台はこどもたちが全員並べるほど長いもので、とっても素敵に仕上がっていました。竹の薬味入れ、竹の器も美しく、初めての竹でのそうめん流しは、大人もこどもも、大興奮。ワイワイ楽しみながら、おなかも心も大満足しました。

普段の生活では体験できないこと、心が喜ぶ時間、夏の素敵な思い出となり、私たちも嬉しい限りです。このような非日常体験を通じて、興味・関心、意欲の向上、自分たちで考え、質問・行動するなど、こどもたちの自ら学び、自ら考える力も育まれているように感じられました。





### 令和5年 9月30日 お月見パーティー&お月見竹あかりづくり

お月様とうさぎのデザインの竹あかりを製作し、だんごとススキでお月見を楽しみました。世代を超えて一緒に楽しみながら、日本の伝統文化行事をこどもたちへ伝えていけたらいいなと思っています。



### 令和5年11月12日 地域を彩る 大型飾り竹あかり製作

伊予市のヒノボリさんで開催されるヒノコレの展示する大きな飾り竹あかりを製作しました。いよあかりメンバー、昨年度つながり私たちの活動を応援してくれている仲間たち、JICA海外協力隊グローバルプログラムで伊予市に来られている方々にもお手伝いいただき、1mを超える大きな竹あかりを10本製作しました。

竹を伐採し持ち帰り、1mほどにカット。節を抜いたら、デザインをバランスよく貼り、専用ドリルで穴を開けていきます。作業量も多く同じ姿勢で開けていくので、腰や肩、手に疲れも出るため、休憩したり交代しながらなんとか10本完成しました。10本並べると豪華！ライトを入れるのが楽しみです。別日で炙り作業（11月19日）配線作業（11月23日）を行いました。





### 令和5年11月24日 ヒノコレイVENT用 事前準備

ヒノコレで、当日限定で手のりミニ竹あかりづくりブースをつくり、予約なしでも楽しめるようにしたので、事前に竹をミニ竹あかりサイズにカット&炙り作業をおこないました。キャンドルが入るようにサイズを確かめながら、ひとつひとつ丁寧に仕上げていきました。



## 令和5年11月25日 ヒノボリにて 竹ランタンワークショップ

ヒノボリ主催「秋と灯りの夜会」にて、竹あかりづくりワークショップ「灯り」をテーマに開催したいということでお声がけいただきました。今回は初めて夕方からの開催で、自分で作った竹あかりにライトを灯し、そのまま夜までイベントを楽しめるような工夫がされていました。灯りづくりのワークショップや、照明器具の展示、キッチンカーも出店しておでんやがんと、おにぎりや豚汁などあったかグルメもあり、たくさんのひとで賑わっていました。

お孫さんと一緒に竹あかり作りを楽しむおじいちゃん、ニコニコ笑いあいながらつくっているご夫婦、一人真剣に向き合う中学生、みんなで協力してつくっているご家族、彼女が嬉しそうに作る姿を見守る彼、など、それぞれいろいろな竹あかりづくりのドラマがあって素敵だなあと、ほっこりしながら見ていました。いくつになってもワクワクは楽しいもので、大人も子どもも目をキラキラさせながら夢中になれる、この竹あかり作り、たくさんの方に体験していただきたいです。

そのほか、当日限定で手のりミニ竹あかりづくりや、竹あかりわなげのブースも作り、予約なしでも楽しめるようにしました。手に乗るサイズでかわいい動物デザインは大好評で、全部揃えたいね。と、兄弟姉妹で違うデザインを作って帰られた方もいました。

あたりが暗くなってくると、大きな飾り竹あかりが本領を發揮。ライトが灯され、美しく虹色に輝く竹あかりにみなさんうっとりで見惚れていました。通りがかりの人たちも、わぁ、素敵。きれいだね。と声が聞こえてきました。

伊予市の方だけでなく、大洲市や東温市、松山市など近隣の地域からも参加いただき、竹あかりを通して笑顔になるひとが増えていくことは嬉しいことです。その輪が少しずつ広がっていくことを願っています。



## 事業の課題

- ・地域に飾る竹あかりづくりの仲間づくり
- ・道具を充実させていくための活動資金集め
- ・SNS 活用方法についての専門的知識

## 今後の事業展開

私たちは、竹あかりづくりを中心に、こどもだけでなく大人も楽しめるもの、やったことのないこと、非日常体験などの直接体験を通して、多様な価値観を理解しあい、いきいきと生きる力を育てていけるような、学び、体験、コミュニケーションの機会をつくっていきたいと思っています。

今後は、竹の葉を使った染物や、竹炭を使った無農薬野菜づくり、その野菜を使っての食育体験活動、町家へのイベント出店や、地域活性イベントとしての竹ランタンづくり、手話サークルへの出張竹あかりづくり、高校生や大学生とのコラボでデザイン性のある飾り竹あかりづくりなど、増える竹林を有効活用しながら、体験活動応援、多世代交流、子育て支援、社会教育活動につながる事業を行っていきます。

地域に飾る竹あかりは、私たちが住むこの自然豊かな伊予の街を、地域のみんなでつくる竹あかりで照らし、地域を盛り上げる一つのイベントとして、毎年継続していきたいと考えています。活動の様子をSNS のなどで発信することで、若い世代を中心に魅力発信にもつなげていき、たくさんの仲間と活動の幅を広げていきたいです。

## その他（団体のHP・SNS・リンク先等）

Facebook

<https://m.facebook.com/people/いよ-あかり/100088462470346/>

Instagram

<https://www.instagram.com/iyoakari?igsh=NGQyd3Q3ZHI6cnUO>

## 自由記載

いよあかりは、子ども達の「やってみたい」を応援したい、その場所づくりをしたいという思いから設立しました。伊予市から発信できるもので、地域の人や子ども達が世代を超えて繋がり、自分の街を好きになってもらえるような活動を目指しています。

初年度の活動を経て、同じ目線でワクワクしながら大人も楽しんでいいんだ。という気づきもあり、今年度は「共に楽しむ」というテーマのもと、活動を行いました。

昨年度は、本物の竹を使った竹あかりづくり、伝統工芸品・大洲和紙に箔をほどこすギルディング体験、今年度は、親子での竹あかりづくり、本物の竹でつくった長いそうめん台で流しそうめん、など、さまざまな活動を行いました。

どの活動も日常にないような体験で、みなさん感動したり、発見したりと価値のある経験となりました。老若男女、健聴者、聾者関係なく、伊予市に住む多様なひとたちが夢中になり、楽しみ、交流でき





る場となったことでしょう。新たなつながりもでき、いよあかりの仲間が増えたことは本当に嬉しいことです。

そして、昨年度は上吾川地区へ、今年度は国道56号線沿い日昇さんにて、大きな竹あかりを飾ることができました。地域を照らす、美しい竹あかり、ほっと癒され、たくさんの方に喜んでいただきました。

私たちができるのは小さな活動ではありますが、分け隔てなく、共に楽しめるそんな社会づくりのひとつになったらいいなと思います。共に楽しむ幸せ時間。幸せが増えれば、心も満たされ、家族や周りの人とも幸せを分かち合える。そして、それが地域、社会にも繋がり広がってほしいです。

最後に、

いよあかり

人々の心に寄り添い 地域を照らす灯りでありたい

世代を超えて繋がろう

みんなの居場所を見つけよう

私たちは、これからもこの想いと共に頑張っていきます。

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。



【団体④】

令和5年度活動報告書

団体名	代表者	設立
夕照拓道を活用した桜景色づくりの会	大崎 正俊	2023年4月1日
<b>事業名</b>		
夕照拓道を活用した桜景色づくり事業		
<b>事業の目的</b>		
高齢化地区（集落）に活気と交流の場づくり		
<b>事業の内容</b>		
<p>双海地区公民館活動に準じた内容と地区内の市道の維持、地区住民との交流</p> <p>【令和5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月～8月 地域の居場所づくりの整備（本谷集会所：伊予市双海町本谷地区）</li> <li>・10月15日 中間道のボランティア清掃</li> <li>・11月～年明け 桜の定植作業に先立ち苗木の植樹予定地の竹、かや、カズラ、杉等を伐採、除去作業</li> </ul> <p>【令和6年】（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月18日 桜の苗木の定植作業</li> <li>・3月28日 地域の定例会に合わせて、花見交流（予定）</li> </ul> <p>※関わっていただいたボランティア（企業）にも情報提供 →ボランティア側から希望があれば前後（日曜日）に開催検討</p>		
<b>事業の成果</b>		
<p>【令和5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居場所づくりの整備（7月～8月）（本谷集会所：双海町本谷地区）</li> </ul> <p>伊予市集会所改修等事業費補助金を活用し、本谷集会所の調理室の修繕、照明取換、換気扇取替を実施参考（事業費：1,100,000円）</p>		
		
【本谷集会所】	【調理室改修】	【照明、換気扇取替】



コミュニティ助成事業補助金を活用し、コミュニティ活動用具の整備を実施  
IHクッキングヒーター、冷蔵庫、テレビ、電子レンジ、マッサージチェア等  
参考（整備事業総額：1,728,000円）



【コミュニティ活動用具】

- ボランティア（企業）と地域住民と一緒に、中間道の清掃を実施（10月15日）  
参加者24名（企業、ボランティア、地域住民含む）  
元気な集落づくり応援団「関係人口」創出事業を活用（愛媛県事業）



【中間道の清掃の様子及び地域住民と鯛めしを食べながらの交流】

※えひめ地域活力創造センターのFacebookから一部引用

- 桜の植樹に伴い、周辺の草刈り、竹、かや、カズラ、杉等を伐採、除去作業（11月から年明け）

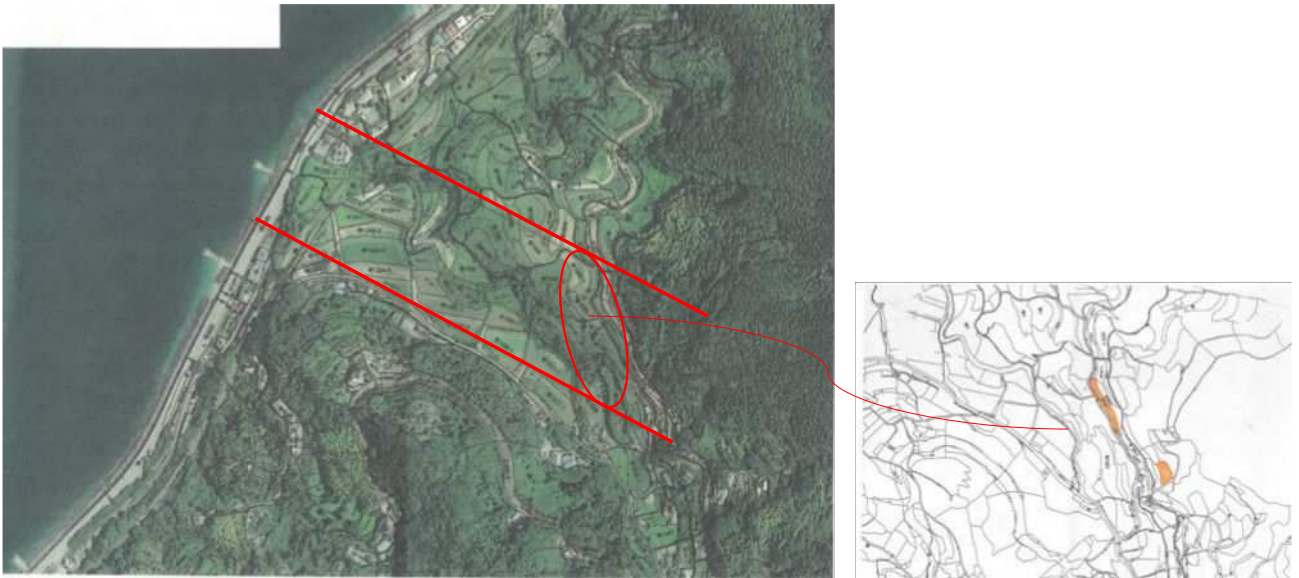


【夕照拓道の石碑付近（栗の木）】

【目白神社付近の様子（竹林）】

【桜の植樹の準備】





【桜の植樹計画箇所（双海町本谷地区周辺地図）】

日本の原風景として、本谷の棚田は、地域の宝であるが、現在、農家も高齢化し、維持が難しくなっている。事業を継続することで、数年後には、桜の景観と棚田の維持についても期待できる。

### 事業の課題

- 地域内にある資源（棚田、目白神社、正法寺、本谷集会所等）の相互の関係性を明確にして、関係人口（外部からの人）の受け入れも視野に考えて地域の活性化につなげ、関わる人が豊かに暮らせる取り組みを考えていく。
- 地域内に存在する耕作放棄地の所有者の把握と活動に対する理解を進めていく必要がある。
- 雑木等の伐採、竹、カズラ、かやの除去をするうえでの人員確保と地元の理解がなければ継続が難しいので、課題が山積している。

### 今後の事業展開

- 応援団のような活動と一緒に取り組んでいただける人材（ファン）を獲得する。
- ボランティアスタッフだけに頼らない維持、管理。→地区住民の意識を変化させる。



【夕照拓道整備の碑】



【本谷の棚田風景】



## その他（団体のHP・SNS・リンク先等）

夕照拓道を活用した桜景色づくりの会 会長：大崎

電話番号：090-1009-2120

E-mail：oosaki@eagle.ocn.ne.jp

## 自由記載

- ・桜の苗木についてオーナー募集
- ・3月末に桜のお花見会を開催予定（参加者募集）
- ・道づくり、SNS 情報発信（竹、かや、カズラ、杉など伐採、除去作業から活動の様子を発信する活動等）応援団募集



【団体⑤】

令和5年度活動報告書

団体名	代表者	設立
E4 プラットフォーム	高橋 宏文	2018年4月1日
<b>事業名</b>		
「いよ de ネシア」食文化創造 (伊予市とインドネシアとの多文化共生)		
<b>事業の目的</b>		
食を通じた愛媛県・伊予市とインドネシアの文化多様性の相互理解と食文化の創造		
<b>事業の内容</b>		
愛媛県・伊予市「食」資源とインドネシア文化の発信、新たなグローバル商品の企画開発・販売 令和5年 7月 8日 顔合わせ (E4、伊予農業高校生、インドネシアからの留学生、愛媛大学生) /会場 (IYO 夢みらい館)		
		
9月 16日 文化祭で出店する料理の決定 (E4、伊予農業高校生、愛媛大学生) /会場 (国立大学法人愛媛大学)		
10月 7日 伊予市街を探索 (E4、伊予農業高校生、愛媛大学生) /会場 (伊予市街地)		
		



10月14日 『第16回いよし市民総合文化祭&ふるさとフェスティバル』（以下文化祭）で販売予定の商品の試作（E4、伊予農業高校生、愛媛大学生）/会場（IYO 夢みらい館）



11月3日 文化祭での販売商品の作成（E4、伊予農業高校生、インドネシアからの留学生、愛媛大学生）/会場（愛媛県立伊予農業高等学校）



11月4日 文化祭での販売（E4、伊予農業高校生、愛媛大学生）/会場（ウェルピア伊予〈伊予市都市総合文化施設〉）



令和6年1月27日 活動内容振り返り、勉強会（E4、伊予農業高校生、愛媛大学生）  
/会場（国立大学法人愛媛大学）



## 事業の成果

伊予市の文化や景観を知ることによる、新たな発見  
伊予市の特産品とインドネシアの家庭料理を取り入れた商品開発  
高校生と大学生が企画販売の一連の流れを主となり行うことで課題解決能力を育成

## 事業の課題

下記6点である。

1. 毎年参加する学生が変わるので考え方・捉え方が変わってくる。
2. さらに伊予農業高校生は他国の文化を知る機会は少ないということ。現地に訪問した愛媛大学生や留学生から情報を吸収し、伊予市とインドネシアの文化や食を学んでいくことができると考えている。
3. 大学生のみならず伊予農業高校生の参加生徒の中にも伊予市出身の生徒は少なく、今回の活動をするにあたり伊予市探索は行ったものの、もっと伊予市についての知識を知ることができる機会を設ける必要がある。
4. 食品を販売するという点において、徹底した衛生管理が必要であった。しかしながら、参加生徒への周知が遅くなり、商品を作り始める段階になって変更点が多く出たため、次年度以降は企画・立案の段階から衛生意識を高めたい。
5. 今回の出店の目標として、インドネシアの食文化の浸透と理解拡大を掲げたが、食品販売に重きを置き過ぎており、PR資料の作成やイベント当日の資料説明にもっと力を入れるべきだった。
6. 文化祭への出店とマルタバの販売を行うに当たり、宣伝活動をもっと早期に開始し、チラシに SNS の QR コードを載せるなどして集客をするべきだった。

## 今後の事業展開

新型コロナウイルスの影響にて、活動回数の縮小などを余儀なくされていた。新型コロナウイルスが5類に移行されて世間的にも落ち着いてきたので、活動回数を増やし、より深く愛媛県・伊予市とインドネシアの文化多様性の相互理解と食文化の創造を行い、次世代リーダーや人材育成につなげていく。





伊予市の文化を学ぶことにより、将来伊予市に興味を持ってもらい伊予市の活性化の一助にもなっていきたい。

### その他（団体のHP・SNS・リンク先等）

#### 【Instagram】

・アカウント名：いよ de ネシア（new）

管理者：愛媛大学生

[https://www.instagram.com/iyodeneshia.osm?utm\\_source=ig\\_web\\_button\\_share\\_sheet&igsh=ZDNIZDcOMzlxNw==](https://www.instagram.com/iyodeneshia.osm?utm_source=ig_web_button_share_sheet&igsh=ZDNIZDcOMzlxNw==)

### 自由記載



団体名	代表者	設立
双藍（そうあい）～愛を紡ぐ藍～	小西 千鶴子	2022年4月1日
<b>事業名</b>		
藍育成事業 藍活用事業		
<b>事業の目的</b>		
<p>双藍は、藍を育てる環境づくりから、活用まで全ての工程を自分のできる範囲で関わりながら、農、地域、環境、食、文化、多様性について、喜びとつながりを持ちながらあらゆる世代と共有しながら学ぶ場として活動することを目的としている。</p> <p>藍（愛）を育て、愛（藍）とつながり、みんなとつながり、愛（藍）の効果が生まれる場である。</p>		
<b>事業の内容</b>		
<p>①休耕地、耕作放棄地の開墾、藍の育成拡大          ②賛同者の拡大          ③藍育成のための研修、勉強会          ④藍の収穫体験          ⑤藍の効能を活かした加工製品の開発          ⑥藍の加工品を生かした女性のための取り組み          ⑦藍の葉のお茶・料理の提供          ⑧藍染め体験</p>		
<b>事業の成果</b>		
<p>4,5,6,7,8月</p> <p>藍の育成を会員各自で実施。育成～収穫～乾燥までの生育報告、情報共有をグループライン内で実施。乾燥させ「藍の葉茶」として市内の各種イベントでテスト販売。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなみ土曜夜市</li> <li>・こよみスペース委託販売</li> <li>・はしご酒</li> <li>・ヒノコレ</li> <li>・個人販売</li> </ul> <p>9月</p> <p>染め屋 tetoha 正岡氏講師による、藍染め&amp;生葉染め体験の実施。その後、自主藍染め体験を実施。</p> <p>11月</p> <p>遊農インストラクター大林氏講師による、藍育成・活用勉強会を実施。</p>		



## 事業の課題

- ・ 藍を育成する農地確保
- ・ 藍を育成する知識、スキル、経験値
- ・ 収穫量
- ・ 専従者が不在であること

## 今後の事業展開

1月

種&ポット&土の会員限定スターターキットの作成。

2月

各自種植え準備、Art Labo KASURI 視察

3月

各自種植え、育苗開始、伊予市がんばるコミュニティ応援事業報告会

4月

商品開発打ち合わせ

## その他（団体のHP・SNS・リンク先等）

### ■販促協議

- ・ 中予商工会
- ・ 一次産業女子 さくらひめ
- ・ 伊予市役所地域創生課（ふるさと納税）

■SNSなどは特にありません。

## 自由記載





ますます、いよし。



本事業に関するお問い合わせ、補助金の応募についてはこちら

伊予市企画振興部 地域創生課

〒799-3113

伊予市米湊820番地

TEL：089-909-6382（課直通）

E-mail：chiikisousei@city.iyo.lg.jp